

『安全報告書(2011年)』

白馬観光開発株式会社



八方尾根ゴンドラリフト アダム

この安全報告書は、当社における索道輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。この章をお読みいただき、ご意見・感想をお寄せください。

【白馬八方尾根スキー場】

八方尾根ゴンドラリフト・アルペンクワッドリフト・兎平ペアリフト・
パノラマペアリフト・白樺第1ペアリフト・白樺第2ペアリフト・
白樺第3ペアリフト・八方セントラルペアリフト

【白馬岩岳スキー場】

岩岳ゴンドラリフト・岩岳中央高速リフト・岩岳ビュー第3ペアリフト・
岩岳第4ペアリフト・岩岳第5クワッドリフト・岩岳ファミリー第2ペアリフト
岩岳ラインA・らいちょうトリプルリフト・らいちょうペアリフト
かもしか第1ペアリフト・かもしか第2ペアリフト・かもしか第3ペアリフト
かもしか第4ペアリフト (休止中 岩岳ラインリフトB 今年度廃止予定)

【樽池高原スキー場】

からまつ高速ペアリフト・しらかばクワッドリフト・ハンの木第1クワッドリフト・
ハンの木第2ペアリフト・ハンの木第3クワッドリフト・ハンの木第4リフト・
ハンの木高速ペアリフト・つが第2ペアリフト
(休止中 ぶなリフト・しゃくなげリフト 今年度廃止予定)

1. お客様へ

日頃は、弊社が白馬八方尾根、白馬岩岳、拇池高原において運営しております索道事業をご愛顧頂き、厚く御礼申し上げます。

弊社では事業の安全性の確保に努めてきておりますが

「安全は全てに優先する」との姿勢で今後とも点検・整備・運行等は安全第一の運営を行なって参ります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自らを振り返ると共に広くご理解を頂くために公表をするものであります。皆様からの声を頂き輸送の安全に更に努めて参る所存でございますので、ご意見を頂戴できれば幸いです。 よろしくお願いを申し上げます。

白馬観光開発株式会社
(白馬八方尾根・白馬岩岳・拇池高原スキー場)
取締役社長 船曳 勇人

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規定をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の遂行に努め、疑義のある時は、「安全は全てに優先する」として最も安全と思われる取り扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行う。

(2) 安全目標

平成23年度索道輸送安全目標は次表のとおりです。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	事故発生件数をゼロ(0)とする。
	乗降場での事故	事故発生件数をゼロ(0)とする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成23年2月5日八方アルペンクワッドリフトにおいて、冬期従業員がガイドレールからの錆水の拭取りに集中していた為、後続の搬器に気づかず、左手の指を挟まれ負傷しました。被害者の方には深くお詫びも押し上げます。

事故発生原因は、係員が営業中に索道を停止しないで行ったことであり再発防止の為、社内で再度マニュアルの周知を徹底致しました。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成23年3月11日東日本大震災、3月12日長野県北部地震が発生しました。当社の索道施設に影響はありませんでした。

尚、強風の為（八方尾根スキー場16日間延べ53時間・岩岳スキー場4日間延べ32時間・樽池スキー場8日間延べ32時間）運行を停止しました。

安全運行について皆さまのご協力をお願いします。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成23年2月9日、岩岳ラインリフトにおいて、お客様の降り損ないによる単輪受索機からの脱索事故が発生しました。事故による負傷者はいませんでした。

事故発生原因は、お客様が降車の際に搬器から手を放さなかったこと及び係員の非常停止操作が少し遅れたことであり、

再発防止の為、社内で再度マニュアルの周知を徹底致しました。

(4) 行政指導等

平成22年度、国土交通省からの指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

当社では、輸送や皆さまの安全に役立つよう、各所シーズン営業開始前に索道機器等の取り扱い及び勤務内容（臨時従業員）等安全教育を実施しています。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、各所従業員一同にて救助訓練を実施しています。また、予備原動装置を備えた索道ではこれを活用した訓練を実施しています。

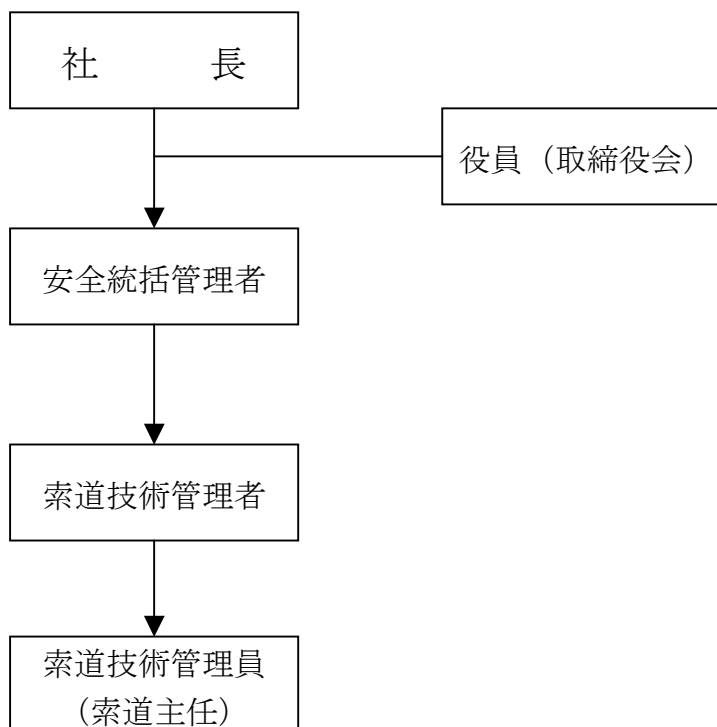
(3) 安全のための投資と支出

安全の維持向上のため、営業収入の約8%を目処に設備の修繕費に充てています。

平成21年度は、減速機、電動機、ゴンドラ・高速リフト系の握索機等のオーバーホール及び通信ケーブル、線路金物等の交換工事を実施しました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。また、危険予知を導入し、日々の業務に反映させております。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (取締役)	索道事業の安全輸送確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮下、索道全般の運行管理、索道施設の保守管理、その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を管理する。
索道技術管理員 (索道主任)	索道技術管理者の指揮下、担当する索道の運行管理、施設の保守管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

6. 利用者の皆さまの連携とお願い

- (1) 「お客様の声をかたちにしてます」
より安全で信頼される索道をつくるため、皆さまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思ひます。

お客様の声を

“かたち” にしてひます

白馬観光開発（株）は、お客様の期待にええられるよう、お客様の立場に立ったサービスの提供に努めてひます。皆さまからお寄せいただいた声は真摯に受け止め、より信頼される索道をつくるために役立てます。お客様の声をかたちにして事例を次回より紹介したいと思ひます。

「要望」

「対策」

(2) リフト乗車時の注意事項

- ① 乗る時に不安のある方は、係員に気軽に声を掛けてください。
- ② スノーボードのお客様は、片足をボードに固定し、流れ止めを付け、ハイバックをたたんで下さい。
- ③ 空き缶・煙草の吸殻・その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
- ④ イスから飛び降りたり、イスを揺らしたり、イスの上でふざけたり、後ろを向いたりしないで下さい。
- ⑤ 衣類・携帯品・髪の毛などが、施設に巻き付かないように注意して下さい。
- ⑥ 安全の為係員の指示に従って行動して下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村大字北城 6329 番地 1

白馬観光開発株式会社

TEL 0261-72-3150 FAX 0261-72-4742

E-mail info@tokyu-hakuba.co.jp